



もってけ! プレゼンツ

フレフレ! ACT SAIKYO

早いですが笑、両親の影響で始めましたが、その頃から月曜以外は全て練習に試合にとバドミントン漬け。当時はとにかく「ショットが決まる」ことが楽しくても今は「相手に勝つこと」を自分で考えながら挑む。例えば相手がこうやってきたらこう返してみよう、など心理を読み解くことなどが楽しくなり、成長とともに「楽しみ方」が変わりました。でもずっと変わらないのが「バドミントンは楽しい」という喜び。だから厳しくても続けられるのだと思います。

スタートは6歳!!



目指すはA代表!
楽しみながら頑張ります!

まずは全日本選手権。ここで結果を出さないと次の日本代表入りは難しく、特に年齢を重ねるとベスト4以上でなければ叶いません。そして目指すは「A代表入り」ですね。A代表の選手は強いです。ほんとに。スピードも速く、球の質も違う。例えばは数回ラリーをしただけで相手の癖を読み取ることも、正直レベルの違いを痛切に実感すること。でもそれには、今の自分の強みに加えて、スピードと長時間動き続けられる体力づくりが必要だと考え強化に取り組んでいます。自分には成長できることがまだまだある。「コロナ禍で時間がある今だからこそ、大切な準備期間と考える、一つでも多くの技に磨きをかけ、戦術を練り、来るべきその日に備え練習に励んでいます。

目標は全日本選手権
ベスト4入り!そして
目指すはA代表!



山口県を元気にしたい!これがわたしたち「もってけ!」の想いです。そこで、今勢いにのり、注目の選手達を擁するバドミントン女子実業団「ACT SAIKYO」を応援!輝く選手、活気あふれるチームの情報を発信し続けることで元気の輪をひろげ、我が街「やまぐち」に「エール」を送ります。お楽しみに!

今月の選手インタビュー

背番号
3

SHIORI SAITO
齋藤 栞 選手



6歳から地元ジュニアチームに所属。強豪埼玉栄中・高を卒業後アクト入団。2017年チーム初のB代表入りを決め、その後19年、今年もB代表選出と、A代表入りが期待されるエース。チームには3学年下の妹「齋藤夏」選手も所属。

- ニックネーム しおびー
- 誕生日 2月14日
- 出身地 埼玉県
- アピールポイント 自分の持ち味である上からのショット
- 試合前のゲン担ぎ 髪の毛を切る

高校時代

- 2011 ● JOC 単優勝
- 2015 ● 高校選抜 単優勝
- IH 単2位
- アジアジュニア 単8強

社会人

- 2016 ● ACT SAIKYO入団
- 2017 ● フィンランドOP 単優勝
- ランキング サーキット大会 単2位
- インドネシアOP 単2位
- インドネシアIC 単優勝
- 2018 ● 大阪IC 単3位
- 2019 ● 全日本社会人 単3位

齋藤選手の強みは「上から打つ球」!

コートからはショット前のために打つ事ができる」と言われます。一瞬の溜め間をつくと、相手は待てずに予測で動く。そこで意表を突くショットを打ち込むと、拾えずに足が止まるというわけです。この瞬時に判断し球を打ち分ける感覚は、幼少の頃から身に付いたものだと思います。でも、試合ではお互い研究してくるので、その間をつくらせないように低い球ばかり打たれたりも。なので、いかに素早く自分の体制を整えられるかが勝負の鍵となります。ライバルですか? 奥原選手、山口茜選手です。特に山口選手は同学年で何度が試合で対戦させて頂いていますが彼女も打ち分けが上手く足を止められてしまします。次こそは勝ちたい相手です。

知ってる? 豆知識

今なら4番! シャトルの番号で季節がわかる!

シャトルには1から順に番号がついていて、大気密度・気温・湿度で違う番号のものを使用。夏は空気が膨張し薄くなるから空気抵抗が減る。だから使うシャトルは軽い2番とか! 寒いとその逆で重いシャトル(大きい番号)を!...となると、打ち方も変わってくるだろうし、んんん調整難しそうだな...

齋藤選手の OFF SHOT!



カフェに行くときはこんな感じで♪

普段はジャージなんです笑。ファッションは同じチームに所属する妹の「夏さん」にお任せ♪妹の意見に従ってます笑

3つのファンクラブ 会員です!

推しはEXILEの佐藤大樹さん。同じ埼玉出身で、とにかくあーっ好きいです。今ライブに行けないのが寂しいですね。



K-POPも大好き!

SEVENTEENとEXO(エクソ)が最高です。特に試合前は曲を聴いて気持ちを切りかえています。



HPはこちら ACT SAIKYO
各種 SNSでも随時情報配信中!
フォローして「いいね!」しよう♪



こちらからバックナンバーを
ご覧いただけます! ▶▶▶



チェックしてみよう!

